

【水道メールマガジン】 第11号(2020年1月)

県庁生活衛生課です／災害への備え～今だからこそ、できること～

兵庫県健康福祉部生活衛生課です。

2020年、新年を迎えて1か月が経ちました。

今年も、メールマガジンを通して様々な情報をお届けしたいと

思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼

今号の話題

第11号 災害への備え — 今だからこそ、できること —

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲

今年の1月17日、阪神・淡路大震災から25年目を迎えました。

この機会に、災害への備えについて改めて考えたいと思います。

「災害時にも給水を継続する」ためにできることは、大きく分けて2つあります。

- ①被害を未然に防ぐための対策(主にハード面)
- ②災害が起こった際の影響を最小限に抑えるための日頃からの備え(主にソフト面)

それぞれについて、今だからこそできることを考えてみましょう。

<被害を未然に防ぐ ～施設の対策～>

これまで、水道における災害対策は主に地震を想定しており、水道施設の耐震化を進めてきました。

「生活基盤施設耐震化等交付金」として、耐震化事業に対する補助メニューもあり、対策を進めていますが、十分な状況とは言えません。

(参考:H30年度県内平均)

基幹管路の耐震適合率 45.9%(前年度比 +0.9%)

浄水施設の耐震化率 36.1%(前年度比 +1.1%)

配水池の耐震化率 61.3%(前年度比 +0.4%)

一方、ここ数年、これまでにはなかった大規模な豪雨災害が頻発しています。

H29年の九州北部豪雨、H30年の西日本豪雨、R元年の台風第19号など、

まだまだ記憶に新しいのではないのでしょうか。

水道施設自体の被災、または、水道施設に直接的な被害がなくても、停電の

発生により、大規模な断水が各地で発生しました。

国ではH30年に「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」をとりまとめ、

耐震化をより一層進めることに加え、停電、土砂災害及び浸水災害についても対策を

進めることとされました。

これに伴い、H30年度～R2年度までの3か年限りの補助メニューが創設されています。

- ・停電対策(自家発電設備の設置など)
- ・土砂災害対策(土砂流入防止壁の設置など)
- ・浸水災害対策(防水扉や止水堰の設置など)

来年度は、3か年の最終年度となります。

補助の採択要件についても一部緩和されるなど、以前に比べて幅広く適用できるよう

なっていますので、各施設における対策の必要性を改めて見直していただき、積極的に

ご活用ください。

<日頃からの備え ～マニュアルと訓練～>

起こってほしくはないですが、自然災害は避けようがありません。

50年に一度、100年に一度といわれるような豪雨が頻発する中、十分な対策を

実施していても被害が発生することは想定しておかなければなりません。

そんな時、パニックになったり機能停止に陥ってしまったりしないために、

平常時からの備えが重要になります。

地震対策や、風水害対策などのマニュアルを整備している事業者は多いと思い

ますが、どれくらい活用できているのでしょうか。

マニュアルの見直しは、実施されていますか？

マニュアルに沿った訓練などは、実施されていますか？

マニュアルは、関係者がいつでも見ることができるようになっていませんか？

非常時の連絡網や指揮系統は、正しく把握できていますか？

せっかくのマニュアルも、作っただけではいざという時に役に立ちません。

マニュアルを関係者に周知し、それに従って訓練を実施し、訓練の振り返りをして、

マニュアルの見直しをする、そういった PDCA サイクルをまわすことが大切です。

また最近では、住民参加の断水訓練や応急給水訓練も増えています。

大規模な災害から年数が経つにつれ、それを経験した人が住民にも事業体職員にも

少なくなっていくます。

実際に訓練に参加することで、その時の教訓を伝え、災害時にいかに水の確保が

大変であるかを認識することにつながり、また、水道事業のことを知ってもらう

良い機会にもなります。

水道は住民の生活にとって欠くことのできないライフラインであり、災害時に

おいても「水の供給」が非常に重要であることは、言うまでもありません。

今後も発生が想定される大規模な自然災害に対し、一歩ずつでも対策を進めて

いくことは、水道事業者の使命とも言えます。

この機会に、一度、防災・減災への体制を見直してみましよう。



発行：兵庫県健康福祉部健康局生活衛生課

tel: 078-362-3256

E-mail: seikatsueiseika@pref.hyogo.lg.jp

